

長洲小だより 第15号

発行 長洲町立長洲小学校
長洲町長洲1776番地
Tel. 0968(78)0109 fax (78)7103



令和4年12月23日(金)

「感謝の思い」

皆様、今年はどうのような年でしたでしょうか？ 思い出してみると、コロナ禍に立ち向かう一年だったと思いませんか。少しずつ収束するはずですが、「これからどうなっていくのだろうか？」という不安な気持ちでもあります。

昨年度は、どこの学校でも多くの学校関係行事を中止あるいは延期にせざるを得ず、忸怩(じくじ)たる思いでしたが、どうすれば児童の活動を展開できるかという視点で教育活動を整理し、今年度は殆どの行事を実施することができました。児童の皆さんと保護者の皆様との連携が活動成功の鍵ではなかったかと振り返っています。

私にとって、子供達や保護者の皆様、地域の皆様、先生方、誰もが掛け替えない宝物です。その宝物の皆様が学校を支えてくれました。ただただ感謝の気持ちがあります。今後も児童の活動を諦めずに、どうすればできるのかを考えながら、学校運営に邁進していきます。今後ともご理解とご協力の程、何卒よろしくお願致します。

よい年をお迎えください。

NAGASUサミット

コミュニティ・スクール(CS)の本校は、昨年度に引き続き、五者が集い話し合うNAGASUサミットを開催しました。五者とは、児童生徒、職員、保護者、地域、行政のそれぞれ代表者を指し、それぞれの考えを学校運営に生かすことを目的として話し合いを行います。

学校長が進むべき方向性を示し、より多角的な立場が異なる意見を取り入れることでより社会と学校をつなげたいのがこのサミットの目的です。

CSの目標は、「これからの時代に求められる力を育てること」です。これに伴い、本校では子供達に身に付けさせたい資質・能力を「主体性」「協働性」「創造性」としています。子供達は自身のアイデアや自校の課題をサミットで発信して「主体性」を発揮し、課題改善のために「協働性」を発揮していました。学校教育目標「みんなの力でみんなでつくるアクティブ長洲小」の通り、自分達の学校は自分達でつくるんだ、そんな自覚と意欲から「創造性」を発揮してくれることでしょう。

この日、児童会の代表者だけでなく、4年生以上の高学年は全員、教室でオンライン参加でした。来年度児童会を運営することになる4、5年生にとっても次年度の方向性を共有することができたと思います。サミットのまとめでは、太田恭司先生(熊本大学大学院シニア教授)よりアドバイスを感想を頂きました。

長洲小学校は、このような取組を通じ子供が主体の学校を目指して、また地域に発信するという、社会のニーズに応じた人材を育成する学校を目指しているのです。



SNSを上手に使う！ 戸田俊文先生のお話

16日(金)は持久走大会の後にPTA主催の「教育講演会」がありました。大人も子供も学びの多いお話で、聞く態度もとても良かったです。講師の戸田俊文先生がおっしゃる、インターネットを豊かに賢く使うための「3+1」はこうです。

- 「表現力」
 - 「コミュニケーション力」
 - 「想像力」
 - 『メディアコントロール力』
- 4つの項目について更に詳しくお話を頂きましたが、今後お知らせしていきます。

インターネットを上手に活用し、学力を向上させるためには、普段の学習を頑張っておくこと、人を大切にすること、ルールを守ること、相手の思いや願いを想像すること、そしてメディア時間を減らすこと等が大切なようです。

自分との闘い／持久走大会

16日(金)は持久走大会でした。コースは学校周回コースで行いました。持久走大会というあまり楽しい思い出が無いのは私だけではないのではないのでしょうか。なぜ持久走をするのでしょうか？ 体育的なその意味はさておき、私は持久走に取り組むことによる「自分との闘い」の重要性があると思っています。自分への挑戦、自己との対話です。普段の生活の中で好きなことだけやっていけば良いという訳にはいきません。苦しく辛いことでも、それに取り組みることによって思わぬ発見や成長があったりするものです。

これからも子供達には、自分の弱い気持ちに負けないこと、目標や記録を達成するために努力をすること、がんばる友だちを最後まで応援すること等を経験して欲しいですね。

大会当日までの練習期間中、友だちや学年の異なる仲間にも自然と「がんばれ！」「あと少し！」と声援が飛び交うシーンが毎日見られ、本校の子供達の心に触れることができ、温かい気持ちになりました。



リズムを作って楽しい冬休みを

年末年始は子供達にとって楽しい行事が多く、時間の経つのが早く感じられて、ついつい生活リズムが崩れがちです。各学年各学級、今日の学級指導で「冬休みは計画を立てて過ごす」という指導が行われていますが、ご家庭でも今一度、子供達と一緒に1日の生活と休みを通しての計画を見直してください。

特に大切にして頂きたいのは、早寝早起き朝ごはん、適度な運動、しっかりとした学習(特に復習)です。

まず、早寝早起き朝ごはんは、生活リズムを作るための基本中の基本です。できれば、朝は遅くとも6時30分には起きて、7時から食事が摂れるようにしたいものです。就寝は遅くとも午後10時でしょう。これでも約15時間起きているわけですから、計画的に過ごさないとかなり無駄な時間を過ごすことになります。

起きている15時間ほどをどのように無駄なく過ごすかを考えるのが「計画を立てる」とことなのです。この中に適度な運動としっかりとした学習を入れることが重要です。学習については特に復習に重きを置いてほしいと思います。というのも、年が明ければ3カ月足らずで一学年進級するからです。今学年の学習内容が分からないまま進級すると、来年度必ず困ることになります。対策として、これまでの復習を行うのは冬休みが丁度良いという事になります。少しくらい良いやと甘く考えず、しっかりと次の学年に向けての準備をしてください。そして、毎日をリズムよく過ごしてください。

クリスマスの嬉しいニュース

令和2年の冬の冬のことでした。ネット上のニュースで嬉しいニュースを見つけました。それは、こんな内容でした。

サンタクロースには新型コロナウイルスの免疫がある

クリスマスが間近に迫る中、世界保健機関(WHO)は「サンタクロースには新型コロナウイルスの免疫があり、プレゼントは届く」と世界の子供達に安心するよう呼びかけました。

これはWHOの感染症の専門家が記者会見で「世界中の子供たちが今年のクリスマスにサンタは家に来てくれるのか心配している」との質問に答えたものです。「サンタクロースは高齢だが新型コロナウイルスに免疫がある」とし、「サンタと少し話したが、とても体調が良い」ことを明らかにしました。

WHOが記者会見で情報提供しているのですから、信憑性がありそうですね。って、子供達への配慮と大人の遊び心が感じられて明るい気持ちになる記事でした。

さて、明日はクリスマススイブです。世界中の子供達がサンタクロースに会いたくて仕方のない夜です。でも、夜更かしはダメです。子供の頃に聞いた話ですが、サンタクロースは真面目で誰にも優しくできる人のところしか来ないと聞いたことがあります。長洲小学校の子供達もそうあってほしいものです。私は何を願いましたか。うかねえ。そういえば最近、私の所にはサンタさんが来てくれないような…。